

‘清見’の簡易被覆栽培に関する研究

第3報 樹形改造・整枝せん定による低樹高安定生産技術

平山秀文・榎 英雄・磯部 暁 (熊本県農業研究センター)

Hidefumi HIRAYAMA, Hideo SAKAKI and Akira ISOBE :

Studies on the Citriculture under(Plastic Film) Structure of ‘Kiyomi’ Tangor

3. Stable Culture Technique on the Low Tree by Improvement of Tree Form, Training and Pruning

清見は樹勢が強く、新梢生長が旺盛であり施設栽培においては、樹高が3m以上にも達し管理作業に支障をきたしている。そのため、施設の関係から最大樹高2.5m程度に制限する必要がある、樹冠縮小、樹高切り下げによる被覆栽培に適合した樹姿を維持するせん定技術及び高接更新樹の接木方法、整枝方法について検討したので報告する。

1. 材料及び方法

試験1：1988年3月に11年生、12樹(露地3樹)を供試し、双幹形、二段盃状形、開心自然形の3方法で行った。同年4月に簡易ハウス1棟を設置した。ビニル被覆は4月上旬～7月上旬、11月上旬～収穫時とし、夏期は除去して管理した。換気は、サイドビニルを開閉して調節した。

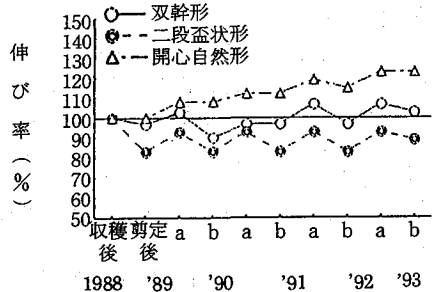
試験2：1990年4月、16年生川野なつだいで24樹供試し、双幹形、二段盃状形、開心自然形の3方法と、更新方法として一挙更新法、側枝接法の2処理を行った。枝梢管理は、接ぎ木当年に発生した春枝を8～10枚で摘心し夏秋梢は無摘心とし、2年目以降は普通のせん定とした。同年5月簡易ハウス、3棟(単棟)設置し、ビニル被覆、温度調節は試験1に準じた。

2. 結果及び考察

試験1：簡易被覆栽培における低樹高整枝としては、

二段盃状形仕立てが樹高を2.6m程度に維持することができ、収穫能率が向上するなど管理作業がしやすくなった。双幹形は着果層が外なり傾向が強く、管理作業・果実品質は向上したが、亜主枝を短縮するため葉が樹冠の外側に集中し、樹冠内部の着果は少なく、枯れ枝や病害虫の発生が多く、しかも樹冠上部の新梢が強くなり整枝せん定が難しかった。

試験2：樹形では、樹形構成時から樹高を抑えた二段盃状形が樹姿も小さく、収量も多かった。双幹形は樹幅を抑えることから新梢が長くなり着花が少なく収量に影響した。接木法では、二段盃状形、双幹形は一挙更新が良かったが、年数が経過するに従い接木方法による差は失われた。



第1図 樹形と樹高の推移 (簡易被覆)

第1表 樹形、樹冠容積と収量 (1986年～1992年平均)

区	樹形	樹高	樹幅	樹幅	樹容積	収量		1果量	㎡当たり果数	㎡当たり重量
						果数	重量			
簡易被覆	双幹形	3.1	3.5	2.7	19.9	248	47.3	229	13.1	2.4
	二段盃状形	2.6	3.2	2.9	17.1	265	47.3	222	15.3	2.7
	開心自然形	3.0	3.0	2.9	17.5	216	42.8	235	12.8	2.5
	平均	3.0	3.2	2.8	18.2	243	45.8	229	13.7	2.5
露地	双幹形	3.0	3.3	2.3	15.7	234	38.8	213	13.5	2.2
	二段盃状形	2.6	3.1	2.9	16.5	234	38.8	213	14.3	2.3
	開心自然形	3.2	3.3	3.3	24.4	288	45.4	198	11.4	1.9
	平均	2.9	3.2	2.8	18.9	252	41.0	208	13.1	2.1

第2表 樹形、接木方法及樹高、樹冠容積及び収量 (1993年度調査、接木4年目)

樹形	接木方法	樹高	樹幅	樹幅	樹容積	収量		一果量	㎡当たり	
						果数	重量		果数	重量
双幹形	一挙	2.4m	3.0m	2.0m	10.1㎡	58個	17.9kg	309g	5.7個	1.8kg
	側枝	2.4	3.1	2.0	10.3	56	17.8	318	5.4	1.7
	平均	2.4	3.1	2.0	10.2	57	17.9	314	5.6	1.8
二段盃状形	一挙	2.0	2.6	2.3	8.5	132	35.3	267	15.5	4.2
	側枝	2.1	2.7	2.6	10.3	92	27.3	293	8.9	2.7
	平均	2.1	2.7	2.5	9.4	112	31.3	280	12.2	3.5
開心自然形	一挙	2.6	3.0	2.6	14.4	111	34.8	314	7.7	2.4
	側枝	2.6	2.9	2.6	13.9	117	34.9	298	8.4	2.5
	平均	2.6	3.0	2.6	14.2	114	34.9	306	8.1	2.5